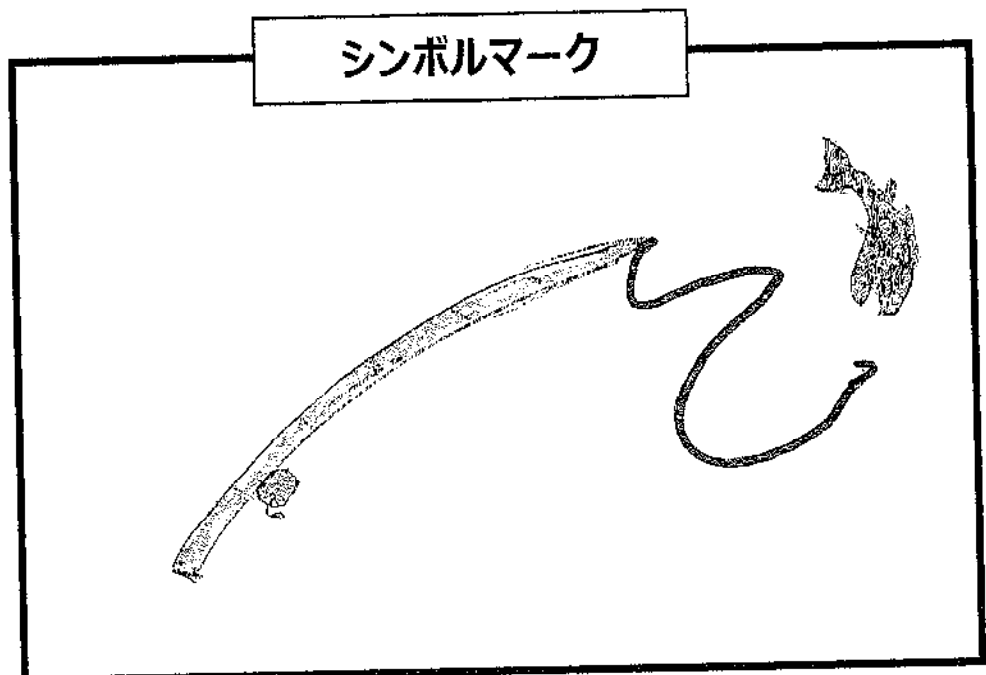


2024 年 3 月 26 日

グループの旗

Cコース: 4 グループ

グループのネーミング
まっちゃんず



チーフアドバイザー
笥 一 雄
アドバイザー

役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	松崎 貴士	(株) ミュイテクト
2	サブリーダー	宇野 暢繁	(株) デンソーエレクトロニクス
3	発表者	西川 浩暉	アール・X・カネウノ (株)
4	質問者	岩下 忍	アイシン・高丘
5	書記 1	北藤 涼太	(株) 東海理化
6	書記 2		
7	時間係・5 S		
8			
9			

グループの決め事

No	内 容	評 価
1	みんなが積極的に発言する	<input type="radio"/>
2	みんなで時間を守る	<input type="radio"/>
3	全員発言する	<input type="radio"/>
4	暗くならない	<input type="radio"/>
5	みんなの意見を大切にする。	<input type="radio"/>

★活動終了時に全員で評価を実施します
★評価は、○、△、×等で記入
※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう！

2. 現状把握

《現状把握メモ》

	気になる現象(コマが上手く抜けた時と、コマが上手く抜けなかった時の違いを見てください)	
	コマが上手く抜けた時	コマが上手く抜けなかった時
人	【人では?】	力が弱い。
	前にやった人を見よう学習	スピードが遅い。
道具	【ハンマー、机、シートでは?】	
材料	【ダルマ、コマでは?】	
方法	【積み方、たたき方では?】	
	床にハンマーを当てながら振る	床にハンマーを当てずに振る
測定		
環境	【実施する場所では?】	

Cコース:

グループ

リーダー研修会(初級)

計算表(改善前)

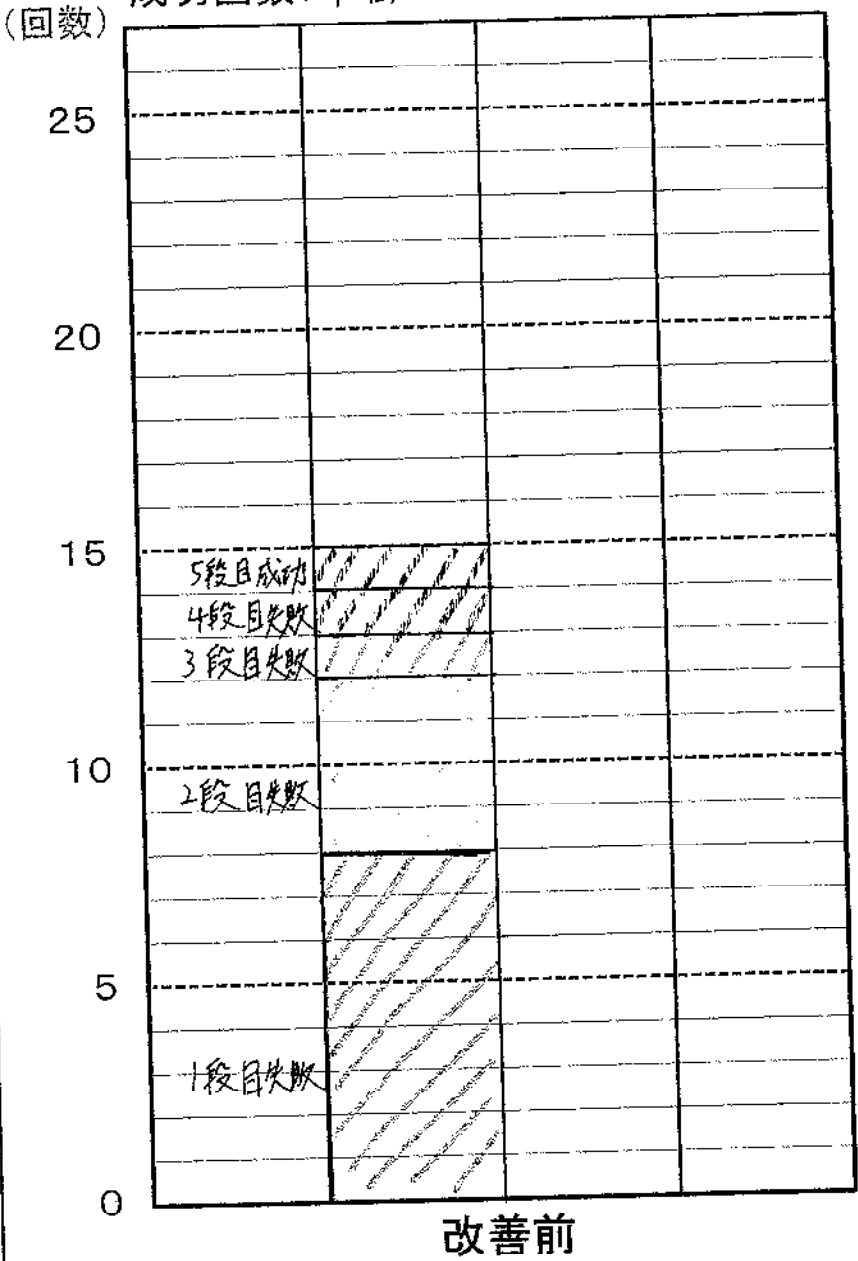
	回数	成功率
5段成功	1回	6.7%
5段目失敗	0回	
4段目失敗	1回	
3段目失敗	1回	
2段目失敗	4回	
1段目失敗	8回	
合計	15回	

(改善前)

作成日: 2024年 3月 26日

作成者: 直藤

成功回数: 1回



3. 目標の設定・活動計画作成

Cコース: 4 グループ

具体的目標：なにを、いつまでに、いくらをいくつに

(※ 目標の設定根拠も記入するとよい)

なにを： 1 役目失敗

いつまでに： 今日中

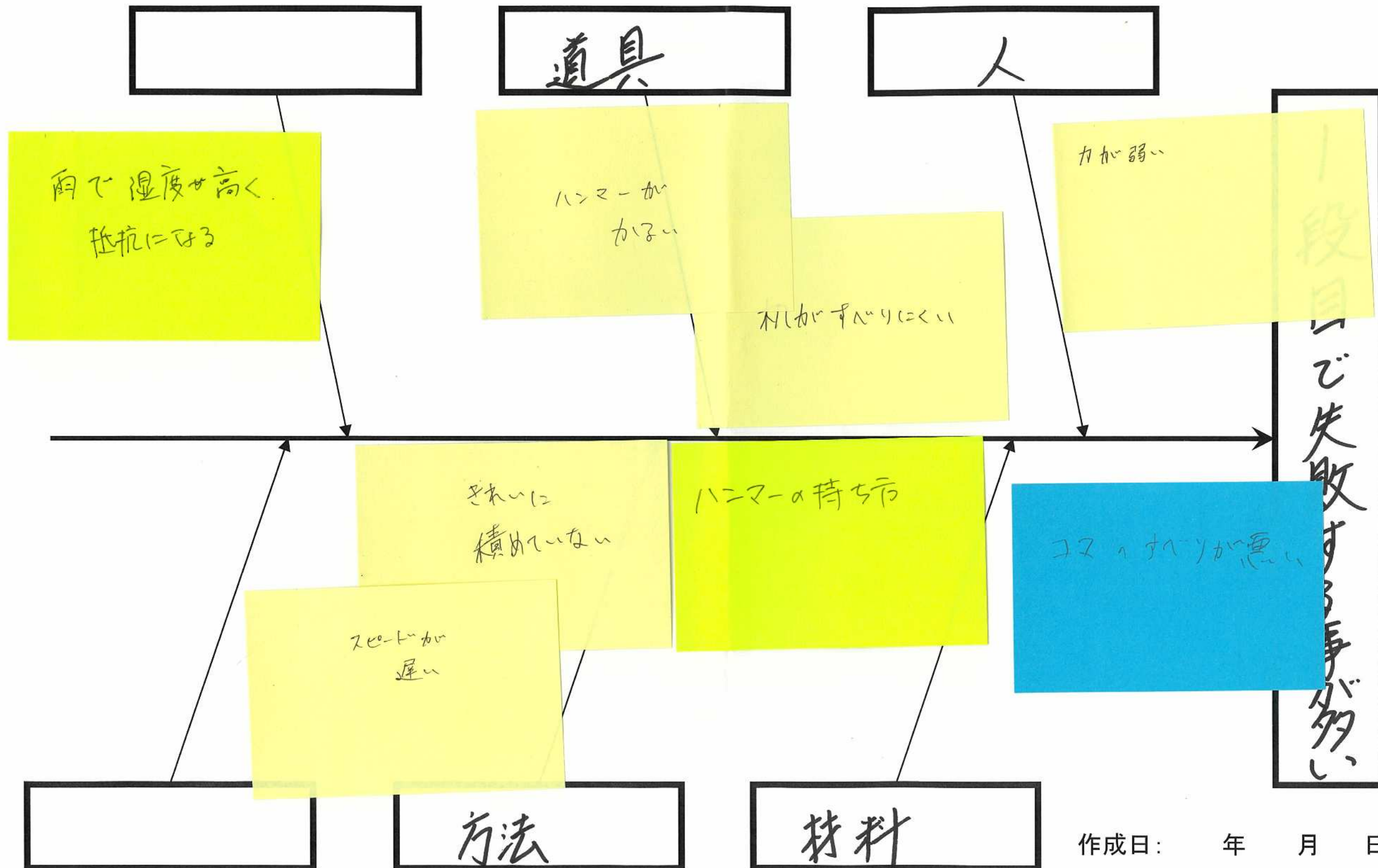
いくらをいくつに：

8回を0回にする

4. 要因の解析

要因をもれなく拾い上げて整理する。なぜなぜを繰り返す。

Cコース: 4グループ



作成日: 年 月 日

作成者:

Cコース: 4 グループ

要因の絞込みと検証

- ① 観察で確かめる(現地・現物で確かめて要因を絞り込む)
- ② データや事実に基づいて確かめる(必要な要因に絞ったデータ・事実確認)
- ③ 実験・試行して、悪さ加減を確かめる(悪さの再現と要因探し)

	主要因	検証結果	採否
人	力が弱い	力が弱いとため	○
道具	ハンマーが軽い 机がすべりにくい 机が低い	ハンマーが軽いとダメ 机がすべりにくいのはあまり関係ない 机が低い	○ ✕
材料	コマのすべりが悪い	コマのすべりが悪いとダメ	○
方法	スピードが遅い まわいに積めしていない ハンマーの持ち方	スピードが遅いのはダメ	○

5. 対策の検討・実施

Cコース: グループ

評価の目安
◎ (効果は大きい) 5点
○ (まずまずの効果) 3点
△ (効果は小さい) 1点

(具体的方策案)
3次手段

基本目的

1次手段

2次手段

1
段
目
で
失
敗
を
な
く
す
に
は

力を強くする

ハンマーを長く持つ

シンに当てる

振り抜く

えを長くする

評価				評価点	優先順	採用
効果	実現性	コスト	納期			
◎	○	△	△	10	5	
◎	○	○	○	14	4	○
◎	◎	◎	◎	20	1	○

コマのズバリを良くする

~~おが~~面を拭く

木目を合わせる

おがく

コーティングする

コーティングする

ズバリや面を積む

◎	○	○	○	14	4	
◎	△	△	△	8	6	
◎	○	○	○	14	4	○
◎	◎	◎	◎	20	1	○

スピードを速くする

助走をつける

走る

距離をとる

○	○	◎	◎	16	3	
○	◎	◎	◎	18	2	

高さを合わせる

机を高くする

かた上げる

中腰をやる

座をやる

◎	△	△	△	8	6	
△	○	◎	◎	14	4	
◎	◎	◎	◎	20	1	○

6. 効果の確認

計算表(改善前)

	回数	成功率
5段成功	1回	6.7%
5段目失敗	0回	
4段目失敗	1回	
3段目失敗	1回	
2段目失敗	4回	
1段目失敗	8回	
合計	15回	

計算表(改善後)

	回数	成功率
5段成功	10回	66.7
5段目失敗	2回	
4段目失敗	1回	
3段目失敗	0回	
2段目失敗	2回	
1段目失敗	0回	
合計	15回	

(1) 結果

Cコース: 4グループ

目標	結果
1段目失敗を今日中に8回を0回にする。	目標達成

(改善前)

作成日: 年 月 日

作成者:

成功回数:

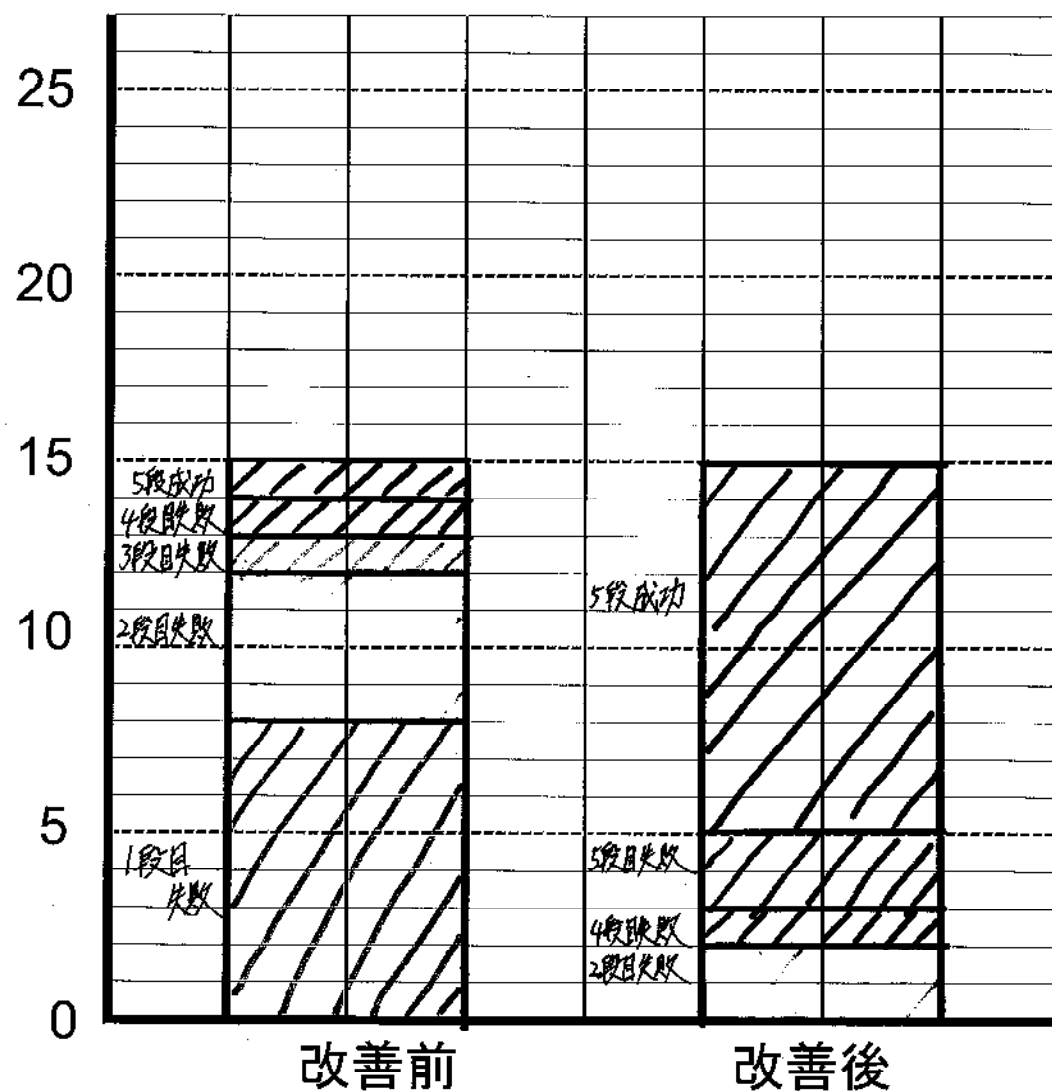
(改善後)

作成日: 年 月 日

作成者:

成功回数:

(回数)



(2) 目標との差分析

全体の成功率アップ
 6.7% → 66.7% 10倍!!

マーキングの評価点は低かったが一番効果があった。
 マーキングをつける事により、木目と合わせ高さを合わせる事が
 できたので、シンをとらせる事ができた。

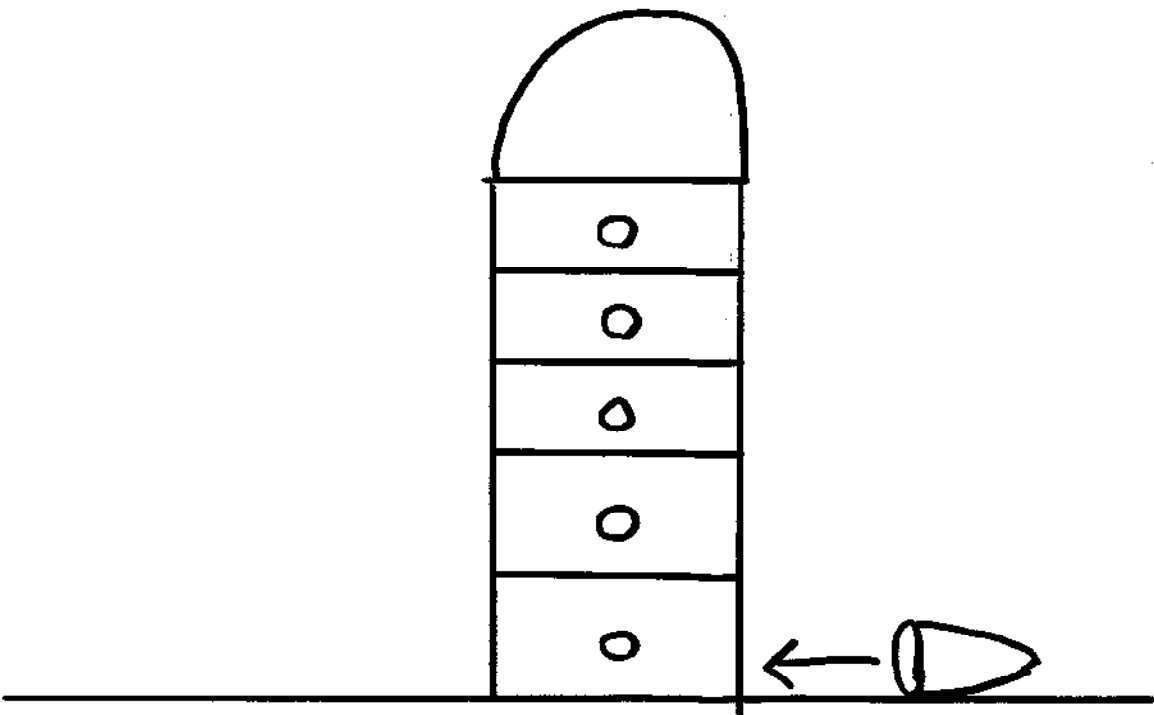
7. 標準化

Cコース: グループ

【標準化(ルール化)する】

なぜ	なにを	いつ	どこで	誰が	どのように
打点とツマの積み方を合わせる為	マーキングも マキ	使用前に	その場で	使用者が	目視で確認する
高さも合わせる為	缶を	使用前に	その場で	使用者が	準備する
振り抜く為	ハンマーを	ツマを打つ時	机の上で	使用者が	すばらせる

図で説明する



8. 反省と今後の進め方(今後の活動の糧にする)

Cコース: グループ

※ダルマ落としの感想でなく、研修会に参加しての感想

☆ よかった点

① 全員参加で色々な意見や
対策案が出て考え方の幅が
広がった。とても良い経験になり
自分でもQC活動に話かけたい

対策をしっかりとやる事が
出来た。成功率をぐんと上げ
る事が出来た。

宇野

よかった点
・対策前は3回とも1段階で
失敗だったが、対策後は
成功する事が出来た。
・成エカの為、みんなで案出し出した。

西川 浩暉

QCサークルの話の進め方、図の種類
資料のまとめ方を学ぶ事ができたので
良かったです。

近藤

全員でいろいろな意見を出し合い進めることが
できた。
考え方がちがう人の話が
聞くことが出来て良い
経験になりました。

若林

☆ 反省する点

① 意見が出なくなると時の
うばがし方や、意見の
まとめ方などより力をつけ
たいと思った。

書記に集中していて
対策後の実施時見れていない時が
あったので効果をしっかりと見ながら
資料をまとめる。

近藤

反省する点
・目標を少し低めに設定
していた。

西川 浩暉

発言を自分から進んでおこ
うが出来なかった。

宇野

話し合いが止まった時に
進みが悪くなり
自分の意見を言葉に
する事ができなかった。

若林